



木村 聖子 議員 … 2 件の一般質問

「就農者を支援する担い手研修センター」設置 マッチングプランとの連携により、通年雇用、定住人口の創出を

町長：担い手対策を重点的に取り組まなければならない

木村 観光業と並ぶ基幹産業である農業をしっかりと引き継ぎ守るために、今こそ町として対策を講じ、新たな人材の育成に取り組むべき。

また新規就農は、定住人口増につながると考えるが、来年度の本町の農業担い手支援策について伺いたい。

新規就農者を支援する担い手研修センターの設置など、戦略的な考えはあるか。

町長 非農家出身者を含め、担い手対策を重点的に取り組まなければならない。

また、実証試験圃を設置し、小規模でも農業所得を得られる高収益作物を模索するとともに、ひらふエリアの飲食店などの実需者ニーズをリサーチし、地元での消費と販路の拡大を図り、新規就農者が参入しやすい環境づくりに努めていきたい。

木村 総合振興局が旗振りをして、「しりべし まち・ひと・しごとマッチングプラン」

との連携はどのように進んでいるのか。

町長 総合振興局が中心となつて商工・観光関係者、JA、ハローワーク、関係町村で協議会を設置し、冬期の豊富な労働力を夏期の人手不足の分野と結びつけ、移住を支援するもの。

通年滞在希望調査を行い、職種に応じた受け入れ先を決定し、順調に進めば、4月からスタートする。町としても一緒に参画して取り組んでいきたい。

木村 農林水産省ではPPP発動に際して、担い手の育成について人材力の強化を進めるプランがあり、今後、補助金メニューが発表される可能性がある。町として総合戦略的に先進的な考えを積極的にアピールし、新たな国からの支援を獲得して進めるべきでは。

町長 地域事情の課題があるので、補助についても国に要望していきたい。地方創生も絡め、PPP対策での人材補助メニューも出ると聞いているので、いろいろな観点から戦略的に考え、担当所管で進めていきたい。

木村 今期も観光発展の実情が雇用需要に供給が追いつかず、各企業は、雇用を確保するのに非常に厳しい状態が続いている。

マッチングプランとの連携を取り、農業以外にも建設・介護など各分野の研修などにつなげることで通年雇用の実現となるよう、本町の定住人口

の創出に取り組んでいたきたい。

町長 マッチングプランは、まさしく各界の夏冬困っている分野への支援策なので、各機関と一緒に取り組んで、雇用問題も含めて対策を講じたい。

企業誘致

木村 スパ（風呂）やレジャー施設などは、多くの町民の希望でもあると思うが、仮に旧ホームックス店舗跡地などにそのような企業を誘致できれば、新たに温泉施設や道の駅などを設置する負担も少なくなると考える。

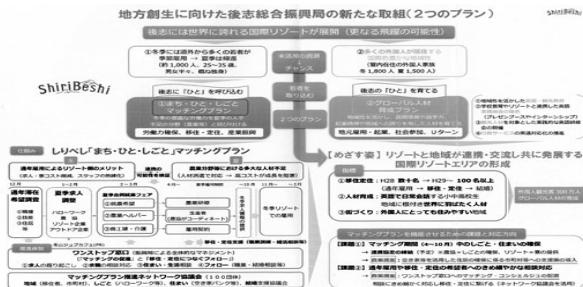
例えば企業に対して税や水道料などを優遇するメリットを出すなどして、町長がトップセールスしてはどうか。

町長 中心市街地活性化計画では企業が参画して、新たな屋内型の機能を模した施設等を検討する。屋内での遊びが非常に

少ないという点では、そのような施設を誘致できないかと思っている。さまざまな機会を捉え、多種多様な分野に対し、町のセールスマンとして、積極的かつ強力にトップセールスにより推し進めていきたい。

木村 町所有の駅横駐車場の冬期閉鎖について、冬期はJRを利用して、冬期はJRを利用する人が増えるのでJRや近隣企業から借入れするなど、駐車スペースを確保するべきでは。

町長 JRの利用状況を検討し、近隣企業とも相談し、対策を講じていきたい。



「しりべし まち・ひと・しごとマッチングプラン」